

令和4年3月30日

大東市長 様

令和3年度提案公募型委託事業に関する報告書

団体名：介助犬のひろば実行委員会

事業名：北河内ユニバーサルマップを活用した魅力発信事業

1. 実施内容
2. 事業の報告
3. 会計報告

1. 実施内容

4月7日	山下さん打ち合わせ
4月14日	スタンプラリー仕様打ち合わせ
4月22日	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
6月8日	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
6月17日	大阪産業大学鈴木ゼミでのプレゼンテーション
6月19日	四條畷エリアマップイラスト打ち合わせ
6月24日	産大鈴木ゼミでの打ち合わせ
7月1日	産大鈴木ゼミでの打ち合わせ
7月13日	大東市教育委員会主任教頭会でのプレゼンテーション
7月20日	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
7月22日	産大鈴木ゼミでの打ち合わせ
8月1-31日	四條畷駅周辺バリアフリー調査
8月3-17日	マスク・タオル製作（景品）
8月18日	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
8月25日	アクティブスクエア大東・みきの家打ち合わせ（景品）
9月13日	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
9月19日	大東市民まつりで団体紹介動画公開
9月22日	JR西日本住道駅長との打ち合わせ
9月24日	ポスター掲示依頼
10月2日	日本身体障害者補助犬学会総会でプレゼンテーション
10月10日	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
10月20日	スタンプラリースタート
10月26日	J:COM収録
10月28日	J:COM放送
11月5日	市長の祝辞動画撮影
11月7日	イエローリボンランフェスタ（京都みやこめっせ）にて広報
11月8日	議長の祝辞動画撮影
11月9日	視覚障害者のスタンプラリー参加支援
11月14-19日	なんこうシャルにて特設ブース運営
11月18日	大東市障害者自立ネットワークでの広報 日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
11月19日	スタンプラリー終了
11月20日	スタンプラリー大抽選会撮影・編集 特設ブース撤収
11月21日	第13回日本身体障害者補助犬学会学術大会開催（オンデマンド配信） スタンプラリー大抽選会撮影・編集
11月24日	スタンプラリー大抽選会動画公開
11月25日	スタンプラリー景品手配 日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
11月26日	日本身体障害者補助犬学会学術大会オンライン交流会

11月30日	スタンプラリー景品準備・発送
12月7日	介助犬体験教室開催（小学3,4年生）
12月9日	介助犬体験教室開催（小学3,4年生）
12月22日	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
12月31日	第13回日本身体障害者補助犬学会学術大会終了 （オンデマンド配信）
1月26日	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会
2月10日	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会

2. 事業の報告

計画した事業

- (A) バリアフリーマップ JR 四条畷駅版のデータベース構築、四条畷駅周辺店舗・施設の再調査
- (B) 成功事例収集
- (C) 街の魅力を探索するスタンプラリー開催

計画時の期待する効果

- 1 障害のある方が外出し、店舗を円滑に利用するために必要な情報提供を行い、社会参加の支援とする。
- 2 実店舗、施設で補助犬使用者、障害当事者を受け入れ、ノウハウの蓄積を行い、街全体で障害者を支援できるようにする。
- 3 マップを実際に利用してみて、課題を抽出するとともに、お店や街の魅力を体験してもらい、より一層の利用喚起を促す。
- 4 補助犬を知らない小学生に対してデモンストレーションを行うことで、補助犬を必要としている方たちの存在を知り、自分にできることを考えるきっかけとする。

結果

(A) 四条畷駅周辺の地図をイラスト化し、介助犬のひろばホームページ上で店舗の位置や歩行空間の勾配や幅員の調査結果と合わせて表示することが出来た。

店舗の調査では四條畷学園大学リハビリテーション学部の協力により掲載店舗の多くを追跡調査することが出来た。対象施設 159 のうち、11 店が閉店・休業で、122 施設にアンケートを配布した。訂正・回答があったのは 36 施設であった。

ホームページはスマホでの閲覧にも対応しており、紙媒体の地図を持ち歩く必要がなくなった。WEB 上で展開することにより、更新作業もやり易くなった。スタンプラリーのポイントとして大東市内の見どころを紹介することもできた。ポイント紹介の閲覧数は 634 であった。

調査に参加した学生は理学療法学科の学生 64 名（1 年生 20 名、2 年生 15 名、3 年生 29 名）で地域の課外学習の一環として取り組んだ。感想は以下のとおりである。お店の方とのやり取りに苦勞しながらコミュニケーションをとっている様子が伺え、自己成長につながる貴重な機会となっている。

学生調査員の感想

・上手く説明できるか不安だったが、一生懸命説明し、渡すことができた。少しでも活動に貢献することができてよかった。

・最初緊張していたのですが、相手の方がとてもやさしくご協力してくださったので良かったです。気前よく受け取ってもらえたので気分が良かった。少し緊張した。

・これからは話す内容を整理してから話そうと思います。

・最初の時は、緊張してうまく伝えられるか心配であったが、病院の受付の方が笑顔ですんなり受け取っていただいたので、結構楽しかったし、気分も良かった。

・人を納得させるのはとても難しいということを改めて学ぶことができた。

・まだまだ人と話すのは苦手なため、うまく話せるように努力したい。

・始め、不安そうな表情をされていたので、第一印象と自己紹介を明るく行うことが大切であると感じた。

・コロナウイルス感染症の影響により閉まっているところがあり、大変な状況にあることを改めて強く感じた。

・最後にありがとうございますとお礼を言ってもらえた。

・接し方は失礼のないように心掛け、挨拶も出来た。また、共感したり、目線を合わすなど大学で習ったことを意識して臨めた。今回の体験を通して障がい者の方に、より暮らしやすい環境を提供するだけでなく、バリアフリーに対しての取り組みや考え方が良い方向に変わればと思った。

・四條畷の商店街をじっくり見たことがなかったので、今回しっかり店名やお店の感じを見て、こんなお店あったのだと新しい発見ができた。

・まともに話を聞いてくれず、受け取ってもらえませんでした。想像以上に心にきました。

・どこのお店も、説明をちゃんと聞いてくれたし、快く引き受けてくれたので嬉しかった。「お疲れ様」や「ありがとう」って言われるのはいいなと思った。

・全施設全て快く引き受けていただきました。

・前回のマップ作成のことについても覚えていて、和やかに対応してくれた。

・「忙しい」と言われたが、簡潔に説明を行うと「ご苦労様です」と労いの言葉を頂いた。

・前回ボランティアで参加したときは、強い口調で断られたこともあったので、身構えて行ったのですが、開いていませんでした。

・どのお店も急に訪ねたにも関わらず、私の話をきいてくださり、受け取って頂いて地域の温かさにふれることができた。障害を持つ方々でも同じようにお店に気にせずに入れるように、どのお店にどのようなユニバーサルデザインがあるかを確かめられるものでとてもいいプロジェクトだと思った。

・嫌な顔をされなかったのがほっとした。

・最初は緊張したがお店の方も優しく接してくれて良かったです。

・どこのお店も快く受け取って頂きました。学校として行っていたので緊張しました。

・前回も協力していただいていると言うとしぶしぶといった状態で受け取ってくれた。

(B) 今年度で大東市内の全ての駅周辺のバリアフリーマップがWEB化された。各店舗のお店の補助犬受け入れ状況が可視化され、ほとんどが同伴可能であることが明確となった。態度を決めかねているオーナー、事業主にとっても他店の動向は気になるので、日本一補助犬にやさしい街づくりが加速していくと期待される。

しかしながら、受け入れの実績がない店舗も多いため、当事者が多く利用し、お互いのノウハウが積み重なって、信頼関係が出来るようになるまで注意深くフォローしていく必要がある。

(C) 大阪産業大学経営学部商学科鈴木ゼミ 3年生 12名の協力を仰ぎながら進めた。大東市内 10

か所にスタンプポイントを設置し、スマホの GPS 機能を用いて WEB 上のスタンプカードに押印していくシステムを運用した。開催期間は 2021 年 10 月 20 日から 11 月 19 日とし、終了後の 11/20,21 と抽選会を実施し、11/24 に抽選会動画を公開した。スタンプラリー期間中は、蔓延防止措置が解除され、陽性者数も全国で 400 人から 100 人台への減少傾向をたどっており、オミクロン株（第 6 波）の影響を全く受けなかったことが幸いであった。しかしながら、外出を推奨するモードではなかったため、思ったほどの参加者は望めなかった。参加者のアンケートからスマホの操作が難しいという声があったため、最後の一週間はなんこうシャルの空き店舗をお借りして特設ブースを設置し、個別に説明を行った。また、ホームページが見にくいという声を受けて変更を行った。

各スタンプポイントの利用者は以下の通りで、スタンプカードの閲覧数は 548 であった。

スタンプ地点名	押印数
住道駅前デッキ	38
野崎駅	30
ポップタウン スペイン広場	20
大東市役所 三好長慶公像	19
サーティホール前広場	17
四条畷駅	15
もりねき広場	15
四條畷学園正門	12
野崎まいり公園	9
アクティブ・スクウェア・大東	8
なんこうシャル特設ブース	96
合計	279

参加者の感想

- ・介助犬のひろばの WEB マップも愛でながら散策することができました。スタンプポイントを巡りながら、街のバリアフリー化が実感できれば、なおよかったかもしれません。ともあれいい時間を過ごすことができました。
- ・お店の写真をもっと掲載して欲しい。
- ・秋晴れのした、楽しい散策となりました^_^ 介助犬のひろばの皆様、素敵な企画、有難うございました^_^
- ・スタンプを集めた数によって 景品を変えてもおもしろいのかなと 思いました！！ 子供と楽しく参加させていただきました！ ありがとうございます！
- ・2箇所だけで応募できてしまったので、もうちょっとたくさん回ってから応募できる方がいろんなところへ行ってみようという気持ちになるのではないかと思います。
- ・またこのような企画を楽しみにしています。
- ・知的障害を持つ友人が「行こう！」と誘ってくれたので、一緒に行きました。clear スタンプが付いたら喜び、最後に景品を嬉しそうに探していました。楽しい遊びをありがとうございました。
- ・参加方法をわかるまで時間がかかりました。取得したスタンプが消えてしまわないか心配がありました。方法がわかると楽しくて色々な場所を訪れたくなりました。スタンプをゲットするときに介助犬の話題なども出てくるともっと理解が深まると思いました。ユニバーサルな場所が普通な場所になるように、ユニバーサルな場所ではなくても人がいることで自然に助け合って全ての場所が

ユニバーサルな場所になれば素敵だと思います。

- ・楽しかったです。もっと色んなスタンプポイントがあればいいなと思いました。
- ・四條畷学園前のコードを読み取っても、上手く作動せず困った。
- ・スタンプラリーの HP が見にくかった。スタンプのやり方ページと、スタンプを押せるページが遠くて、押し方が全然わからなかった。

J:COM でも放映してもらえた。学生の頑張りだけではなく、補助犬と出会った時の心構え「やさしい無視」を紹介してくれるなど、素晴らしい内容であった。

(D) 小学生に対する介助犬体験教室は感染対策のため、オンラインで各教室を結んで行った。通信環境が心配されたため、12 の小学校を 2 チームに分け、さらに接続不良に備えて予備日も設け、合計 3 回実施した。昨年度は開催できなかったため、救済措置として小学 4 年生も対象として参加を募った。最終的には全校 3 年生と 3 校の 4 年生合わせて 1,164 名の参加があった。

オンラインにすることで、自教室内の 1 コマ分の授業で済み、遠方の小学校から開催校まで歩いて向かう必要がなくなった。それにより、時間的、金銭的、労力的にも軽減された。また、カメラアングルを工夫することで、細かいところまで見ることができて、大会場とは違った迫力で視聴することができる。ライブ感がなくなってしまう点は、質問タイムを設けるなどして双方向のやり取りを行い、全ての質問に答えることができた。他校の積極的な質問姿勢や事前学習の成果などを目の当たりにして刺激を受けた生徒や先生もいらっしやっただのではないだろうか？とても好評であったため、来年度以降の継続していきたい。

(E) 今年度は第 13 回日本身体障害者補助犬学会が川村慶（川村義肢株式会社）を大会長として開催された。感染防止のため、オンデマンドとなったが、今まで以上に多くの方たちに視聴していただくことができた。そこでは大東市長の祝辞に加えて、大東市議会議長の手話を交えてのメッセージが全国に発信され、日本一補助犬にやさしい街として広報することができた。また、スタンプラリー大抽選会も動画で公開され、大東市のバリアフリー化に大きな貢献をされた方々に出演していただき、人の素晴らしさも発信できたと自負している。

コロナ禍が落ち着き、多くの方が安心して外出できるようになった暁には、さらに充実したホームページにして障害のある方の社会参加の助けになればと考えている。

市民の皆様、行政、教育、事業者の皆様との連携を大事に、今後も取り組みを続けていきたい。

みんなで支える
暮らしやすいまちづくり

介助犬のひろば スタンプラリー

介助犬のひろば初のスタンプラリー開催決定！

日本一補助犬使用者にやさしい街・大東の魅力を発見しませんか？
友達やご家族、みんなで参加して素敵な思い出と景品をゲットしちゃいましょう！



ZELKOVA CAFE
特別ランチ(予約制)



なんこうシャル
商品券(500円分)



ダイトンゴルフマーカー



オリジナルクリアファイル&
携帯チャーム&缶バッジ

他にも様々な景品があります！
詳細は裏面をご覧ください。



1ヶ月間

開催期間 2021年 10月20日(水)～11月19日(金)

抽選日 11月20日(土) 介助犬のひろばホームページ上で発表

主催 介助犬のひろば実行委員会



エントリーはこちら
介助犬のひろばホームページ

問い合わせ 川村義肢本社ショールーム内 介助犬のひろば実行委員会 刺持悟 (けんもちさとる)
e-mail: kajokennohiroba@gmail.com

日本身体障害者補助犬学会第13回学術大会 市民向けプログラム
令和3年度大東市提案公募型委託事業

介助犬のひろばスタンプラリー

スタンプ
ポイント

JR 住道駅前デッキ、JR 野崎駅、JR 四条駅、もりねき広場、のざきまいり公園、アクティブ・スクウェア・大東、大東市役所三好長慶公像、ポップタウン スペイン広場、サーティホール前広場、四條駅学園正門（※1）



景品の
ご紹介

詳細はホームページで
ご確認ください



参加方法

- ①介助犬のひろばホームページ・特設サイトよりスマートフォンでエントリー
- ②スタンプポイント（10カ所）にてGPS（位置情報）をサーチし、ポイント獲得
※1 四條駅学園正門はQRコードによりポイント獲得となります
※マナーを守り、他の方の迷惑にならないようにご配慮ください
- ③2ヶ所以上回れば応募可能、あとは発表を待つだけ

注意事項

- iPhoneをご利用の方へ
iPhoneのコントロールセンターの「コードスキャナー」で表示したページの状態からスタンプを取得してもスタンプは記録されません。
必ず、右下のアイコンをタップしてSafariに接続してご利用下さい。
または「カメラ」でQRコードを読み取りしてSafariで開いて下さい。
- GPS設定の操作方法については端末購入店にお問い合わせ下さい。
- ブラウザ操作による履歴の削除等を行うと取得したスタンプも削除されます。
- 移動のときは交通ルールを守り安全に注意して行動して下さい。
- 参加者が自己または第三者に与えた損害に対し主催者は一切責任を負いません。
- AndroidではChrome50以上を使用して下さい。（シークレットモード利用不可）
- iPhoneではSafari10以上を使用して下さい。（プライベートモード利用不可）

WEBサイトでの紹介記事



11月20日 スタンプラリーの2
終了しました



11月8日 大抽選会準備中



11月6日 大抽選会準備中

- 学術大会ホームページでの市長と議長の祝辞は参加者、視聴者に大東の魅力を印象付けた
- 手話でのあいさつ、字幕付きのあいさつは画期的であった

J:COMでの紹介



○J:COM つながるNewsでも取り上げていただいた

○通り一遍の紹介ではなく、待ちで補助犬使用者と会った時の心構え「優しい無視」を解説するなど、市民目線に立った内容でとても素晴らしかった

だいとう市民祭りオンラインでの紹介



介助犬のひろば (バリアフリーマップ作成・スタンプラリー)

大阪産業大学 経営学部商学科
鈴木ゼミ一同

○市民団体の活動紹介で介助犬の紹介ならびにスタンプラリーの広報を行った

○大阪産業大学鈴木ゼミによるWEB作成、スタンプラリー紹介

大阪産業大学鈴木ゼミの活躍



- データ入力 調査データをWEBサイトに反映させる
- スタンプラリーの検証
- 景品の選定と紹介動画の制作

スタンプラリーの開催



- 参加者が伸び悩み、スマホの操作が難しい方も多いため
なんこうシャルの空き店舗を借りて、特設ブースを運営
→ガイドがあれば当事者の方も参加しやすい
→学生の協力もあり100名以上の参加と募金が集まった

大抽選会



- 当選者の発表も接触を避けるためWEB上で行った
- 字幕付きで何度も視聴できるため好評であった
- 運営に携わってきた実行委員、障害当事者の方も多数出演